



世界的なサイバー攻撃が発生!!

5月12日に確認された世界的なサイバー攻撃では、150カ国30万件の攻撃が確認されたと報道されました。また、日本国内においても、600カ所2000台の端末が「**Wanna Cry(ワナ・クライ)**」と呼ばれるランサムウェア(身代金要求型ウイルス)に感染した可能性があると報じられています。今回の「Wanna Cry」に感染すると、端末内のファイルが暗号化され、画面上にはファイルを回復するためにビットコインで300ドル相当を支払うように表示されます。

○ 「Wanna Cry」の特徴

「Wanna Cry」は、これまでのランサムウェアと異なり、ウィンドウズの脆弱性(SMBサーバ機能)を突いて、ネットワーク内で増殖を続け、被害を拡大するとの特徴があります。

○ ランサムウェアによる被害を防止するために

◆ 最新のOSを使用し、修正ソフトを適用する

特に「Wanna Cry」への対策として、サポートが終了したウィンドウズの「XP」や「8」は使用せず、最新の「10」を使用し、修正ソフトを適用して最新の状態にする。やむを得ずに、「XP」や「8」を使用しなければならない場合は、今回の攻撃に対応するため、マイクロソフトから修正ソフトが配布されているので必ず適用する。

◆ 不審なメールには注意する

メールに添付されているファイルを開いたり、メールに記載されているリンク先(URL)をクリックしない。

◆ ウィルス対策ソフトを導入する

ウィルス対策ソフトを導入し、パターンファイルを定期的に更新して、最新の状態にする。

◆ 重要データのバックアップを取る

万一、感染した場合に備え、重要なデータのバックアップを取り、端末から切り離しておく(端末とバックアップを取った記録媒体が繋がったままになっていると、記録媒体まで暗号化される場合があります。)

◆ 身代金を支払う前に

身代金を支払う前に、警察やセキュリティベンダに相談して下さい。ランサムウェアの種類によっては、ファイルを回復する方法が判明しているものもあります。



サイバー犯罪(インターネットに関する犯罪)の通報やご相談は...

石川県警察本部生活環境課サイバー犯罪対策室



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp